

枚方市駅周辺再整備に関する市民説明会 質疑応答（概要）

■日時：令和5年7月31日（月）18：30～20：30

■場所：牧野生涯学習市民センター ホール

※市民説明会において、市からの説明後に行った質疑応答の概要をお示ししています。

なお、記載内容には、当日ご参加いただいた方からのご質問の他、今後の取り組みに向けたご意見としてご発言いただいたものも含まれています。

【ご意見・ご質問】

- ・みどりの大空間として、公園整備は良い取り組み。
- ・スポーツする市民が半減していることから、公園の緑の中に市民が楽しめるスポーツ施設を設置してほしい。障害者のスポーツも市内では少ないため、車椅子ラグビーなどの障害者のスポーツ施設があればよい。
- ・フットサル、バスケット、テニス、スケボーやダンス等ができる場所が市駅前という立地であれば、仕事帰りに使うこともでき、周辺の飲食店にも波及していくと思う。高齢者や市民がスポーツに関わるきっかけや健康促進に寄与するためにも作るべき。
- ・④街区に、災害時の避難スペースを兼ねたスポーツ施設があれば市民も助かる。
- ・④街区に公園やスポーツ施設をつくと庁舎が入るスペースはない。③街区に窓口があれば、⑤街区になっても市民には大きな影響はないと考える。

【市の説明】

- ・④⑤街区のまちづくりについては、市民からご意見をいただきながら、民間からの提案ももらい、今後、詳細に検討していきます。

【ご意見・ご質問】

- ・駅前の再整備は7年前から進められており、もうすぐホテルもできる。構想では、市役所を移転して、庁舎のあった場所を広く市民のための場所として開放するというのが核であった。
- ・人口が減少し、経済も低迷することから、稼げるまちを作らないと市は立ち行かない。活性化し、人に来てもらえるまちにするべき。特急停車駅の利点を生かし、他所にない施設を作り、世界中の人に来てもらいたい。
- ・すでにまちづくりが進んでいると思っていたが、なぜ今頃説明会をしているのか。条例とまちづくりの進捗を分けているのはなぜか説明してほしい。
- ・③街区に窓口ができれば200m離れるのは、さほど影響はないと考える。メインの場所を

市民に開放してほしい。

【市の説明】

- ・今回の説明会の開催理由について、再整備は基本計画に基づき進んでいますが、途中段階において移転条例が否決され、先が不透明となっています。この市駅周辺の再整備事業がどのようなものであるかというのを改めて多くの市民の皆さんにご説明させていただきたいという趣旨で開催しました。
- ・移転条例については、改めて議会に提案し、判断をいただきます。予算も庁舎の移転も議決事項なので、議会で判断を頂きながら進めていきます。

【ご意見・ご質問】

- ・計画の問題点は、昨年9月議会で条例が否決されても、計画通り進めており、新庁舎位置は⑤街区で強行していること。市政の運営は、市長と議会であるのに議会を無視して進めることはできない。
- ・市長はやってみないとわからないと言ったが、アリーナ合築の撤回や都市計画決定時期も2024年度に繰り延べされることから、計画は行き詰まっているのではないか。
- ・③街区の窓口においてワンストップで対応するとあったが、現行の法律ではできないことがはっきりした。駅前図書館についても分館としているが、面積200㎡、2万冊であり、和歌山市駅と比較してもかなり小さい。市長の見解を聞きたい。

【市の説明】

- ・基本計画を基に既にプロジェクトが動いており、連鎖型まちづくりとして進んでいます。
- ・庁舎が遠くなるというご意見については、③街区の床を購入して、市民サービスの窓口を設ける計画です。
- ・庁舎の移転条例が否決されたことから、議会の意見を踏まえて、市民説明が不十分であったことへの対応や道路のあり方の再検証を行っており、併せて⑤街区の優位性もお示ししているところです。

【ご意見・ご質問】

- ・コロナ禍の中、駅前の再開発にお金を使うことに不快感があったが、公共工事で雇用が生まれ、消費ができるまちを作っていく、枚方市にターミナルとして、大阪、京都から人を呼べる施設ができることは非常に良い。この計画で、雇用人数が1万2,000人増える事はなかなかできないこと。
- ・建物もあって、そこに商業施設が入って、そこで雇用が生まれる。雇用が生まれて、当然

消費も増えて、増収にもなると考えたときに、反対することはないと思う。

- ・③街区に市の窓口ができるのであれば、庁舎が⑤街区でも問題ない。
- ・障害者の支援をしているので、障害者に対して、庁舎移転も含めて、何かアイデアを聞かせてほしい。

【市の説明】

- ・障害者の対応については、具体化はこれからとなりますが、再整備での施設での障害者の雇用の創出など、様々な対策を検討することが可能と考えています。
- ・人口減少の中、何もしないと税収も減っていきます。中核市として、しっかりと開発を行い、経済が回り、都市機能を維持継続していきます。

【ご意見・ご質問】

- ・前から計画があったが、説明が遅い。このまま衰退を待つのではなく、未来のために進めてほしい。
- ・議会で否決されたが、次回はいつ提案されるのか。

【市の説明】

- ・時期はまだ決まっていますが、広く市民の方に知ってもらい、なるべく早期に提案したいと考えています。

【ご意見】

- ・計画について市役所移転も含め、聞いたことない人が多い。議会の否決時点で説明会をするべきだったと思うが、直接市長が来て意見を聞いてもらえるのは非常に良い。
- ・市役所の位置については、④街区が良い。牧野から図書館、教育委員会は近いが、新庁舎に集約したほうが良い。災害がいつ起こるかわからないので、災害拠点の市役所を早く作ってほしい。
- ・にぎわいとまちづくりについて、大規模商業施設は、くずはモールや門真市でもアウトレットが既にある。さらに大型開発をして、本当に大丈夫か。牧野、御殿山がさびれていきそう。
- ・牧野の公民館は市民の意見で建てた。同じように意見を反映し、自治会、コミュニティを含めて、相談を受けながら進めてほしい。

【ご意見・ご質問】

- ・資料 P14 に示す市駅周辺で目指す将来像の方向性にある、安全安心のまちとしては、道路の段差解消など、普段生活している周辺の安全快適に目を向けてほしい。
- ・市駅周辺だけにぎわっても、離れている人は何も影響はない。市民の目線が大切であり、市民の生活周辺にも税金を使ってほしい。
- ・条例が否決されたなら、改めて予定を見直すことが必要。

【市の説明】

- ・牧野周辺で言えば、牧野公園前の道路では、安全対策として、大阪歯科大学と連携しながら歩道整備を進めていることなど、市内各地域の生活も考えながら進めていきます。

【ご意見・ご質問】

- ・事業に賛成である。この計画を進めると、若い人が集まり、子どもも生まれ、枚方市内の土地が高くなり、牧野、御殿山にも住んでもらえる。また、ショッピングセンターができれば、大阪、京都の人が来て、人口が増え、それによって雇用が生まれ、牧野、御殿山の人口も増えると期待している。

【市の説明】

- ・市駅が栄えれば市外から見た枚方市のイメージアップ効果や土地の価値が高まり、市全域にも波及効果が期待できると考えています。
- ・枚方万博として地域資源を生かし取り組んでいるので、商店街とも連携しながら盛り上げていきたい。

【ご意見・ご質問】

- ・再開発は賛成だが、その際、枚方市駅の商業施設に駐輪場が少ないことや、トイレが少なく、災害時の対応が疑問であることなど、再整備の時に考慮してほしい。

【市の説明】

- ・駐輪場については、健康をキーワードに、ご意見を頂きながら、今後具体化を図る中で検討を進めていきます。また、みどりの大空間を 10,000 m²の規模で整備できれば、一時避難所とすることも検討しており、その中で、トイレについても検討していきます。

【ご意見・ご質問】

- ・④街区については、雨水の再利用や照明器具のLED化、太陽光発電などエコの取り組みはどう考えているのか。エコシティも検討してほしい。

【市の説明】

- ・本市では環境の取り組みも進めており、みどりの大空間を中心に具体化を図る中で、ご意見のあったエコの考え方を取り入れていきたいと考えています。

【ご意見・ご質問】

- ・総合文化芸術センターへ車で行く場合、駐車場料金が高いため料金を下げてほしい。
- ・スピード感を持って、この構想を仕上げしてほしい。
- ・市施設が散らばっているので、駅近くで、まとめて手続きができるようにしてほしい。
- ・もう少し魅力のある都市にしないと市駅まで行かない。

【市の説明】

- ・駐車場については、他からもご意見もいただいているところです。ご意見を踏まえながら、様々な観点でまちづくりを進めていきたいと考えています。

【ご意見・ご質問】

- ・にぎわいを作りたい、財政基盤を作りたいとの計画は分かるが、民間の立てた計画を基に市が計画を立てているのはおかしい。
- ・④⑤街区の市有地を売らないでほしい。あの公共空間をもっと魅力のある場所にでき、そこで初めて本当の賑わいが生まれるのではないか。
- ・ビオルネ、イズミヤ等も寂れていることから、商業施設が成り立つのかは疑問であり、お金を使わずに市民が平等に集まれる施設を整備してほしい。適切な規模の再整備は必要だと思うので、立ち止まり、市民意見を聞いて一緒に考えてほしい。

【市の説明】

- ・民間事業者による提案で事業を進めているということではなく、令和3年3月に行政で計画を策定しました。計画についてワークショップ、アンケート、パブリックコメントを実施しており、この行政計画だけでなく、民間にサウンディングを行うなど、実行可能かどうかを検証しました。
- ・土地の売却は、土地を有効活用することで、将来世代に継続して行政サービスを引き継いでいくために必要と考えています。